



1. 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

グローバル化：国や地域などの枠組みを越えて、地球規模で統合、一体化される様子。
 公民：政治に参加することができる人々のこと。

現在は、18歳で成人となり選挙権も認められます。社会の形成者として求められる資質や能力の基礎を養うことが社会科の目標になります。

2. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	近世の日本 (歴史)	10	
5		11	後期中間テスト
6	日本のさまざまな地域 (地理) ※地域調査の手法 前期中間テスト	12	
7	日本の地域的特色と地域区分 (地理)	1	地域の在り方 (地理)
8		2	開国と近代日本の歩み (歴史) 後期期末テスト
9	前期期末テスト 日本の諸地域 (地理)	3	まとめ

上美生中学校 2年 授業計画（シラバス）

3. 評価の観点（目標）と方法

(1)知識・技能

- ・用語や語句などの知識の他に、社会的事象の特色や意味、理論等を含めて説明することができる知識。
- ・情報を集めて適切に読み取り、その情報を課題解決に沿ってまとめることができる技能。

(2)思考・判断・表現

- ・多面的、多角的に考察する力。
- ・課題を適切に把握して、その解決に向けて構想（選択・判断）する力。
- ・自分の考えを説明し、議論する力。

(3)主体的に学習に取り組む態度

- ・多面的、多角的な思考や理解を通して、粘り強く課題を解決しようとする態度。また、自分の学習を調整しようとする態度。

評価の観点	方法（評価の資料となるもの）
知識・技能	定期テスト、小テスト、発表 など
思考・判断・表現	提出物における記述内容（論述やレポート） 発表、話し合い活動、定期テスト、小テスト など
主体的に学習に 取り組む態度	授業中の発表や話し合い活動の様子などの学習態度 提出物における記述内容、定期テスト、小テスト など

※夏休みや冬休みの課題なども対象となります。

4. 家庭学習のアドバイス

これからの3年間で学ぶ社会科の知識はとても多いです。学習する内容も、地理・歴史・公民と広く3分野ありますから、単語を一つ一つ丸暗記する学習方法では大変になってしまいます。学習のポイントとしては、得られた情報（出来事）の特徴をとらえて、それらに関連付けながら内容を整理することです。そうすることで、活用できる知識として身に付けることができます。

① 自分なりのノートを作りましょう！

まず、分野ごとのノートを使用します。1・2年生の間は地理と歴史を学習し、3年生で歴史と公民を学習します。1・2年生の間は、地理と歴史を単元ごとに交互に学習していきます（年間計画参照）。ですから、学習したことが混乱しないように、ノートには理由や関係、自分で気が付いたことも記入すると良いでしょう。

②5回繰り返す事で知識は定着します！

繰り返し問題を解くことで知識は定着していきます。また、色んな問題に取り組むことで学習した知識を応用し更に理解力を鍛えることができます。まずは、学校で用意されたワークの問題に繰り返し取り組み、確実に解答できるようにしましょう。

③世の中の出来事を知ろう！

テレビニュースを見たり新聞を読んだりする習慣は思った以上に社会科の力を高めてくれます。どこに、どんな国があり、そこで何が起きているのか、教科書の内容につながる考える力を鍛えることができます。ぜひ、日常的に行い社会科力を高めて下さい。